

欧州の現状と将来 ～Brexitを越えて～

平成30年5月

欧州連合日本政府代表部 特命全権大使 兒玉 和夫



欧州の将来： 危機を脱し、正当性の回復・強化へ

1年前

～ Quo Vadis Europa? ～

- 英国のEU離脱
- 難民・移民問題
- テロリズム
- ポピュリズム
(反EU、グローバリゼーション)



EUの結束・一体性への脅威



EUの将来への不安・不確実性



2017年	7月	日EU・EPA, SPA大枠合意
	12月	日EU・EPA交渉妥結
2018年	夏	日EU・EPA, SPA署名
2019年	春	日EU・EPA, SPA発効
	3月	英国のEU離脱

現在

～ Europe is Back ～

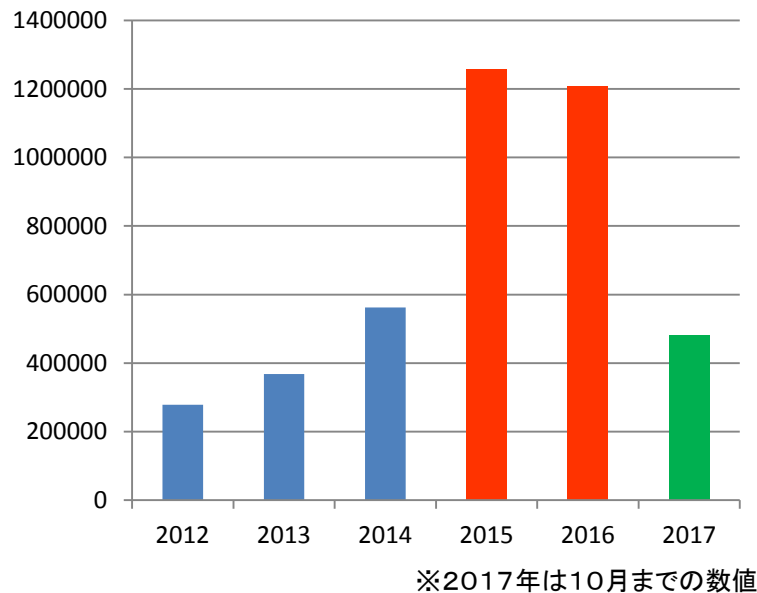
日EU関係の一層の飛躍の契機

- 英国のEU離脱のプロセス・マネジメントの成功に目処, EUの優位性確立
- 難民流入に歯止めと落ち着き
- 対テロ対策の成果の顕現
- ポピュリズムに一定の歯止め
(マクロン仏大統領の誕生, メルケル独首相の大連立政権維持)
- EU経済の回復(2013年から5年連続で堅調な景気回復)

移民・難民対策



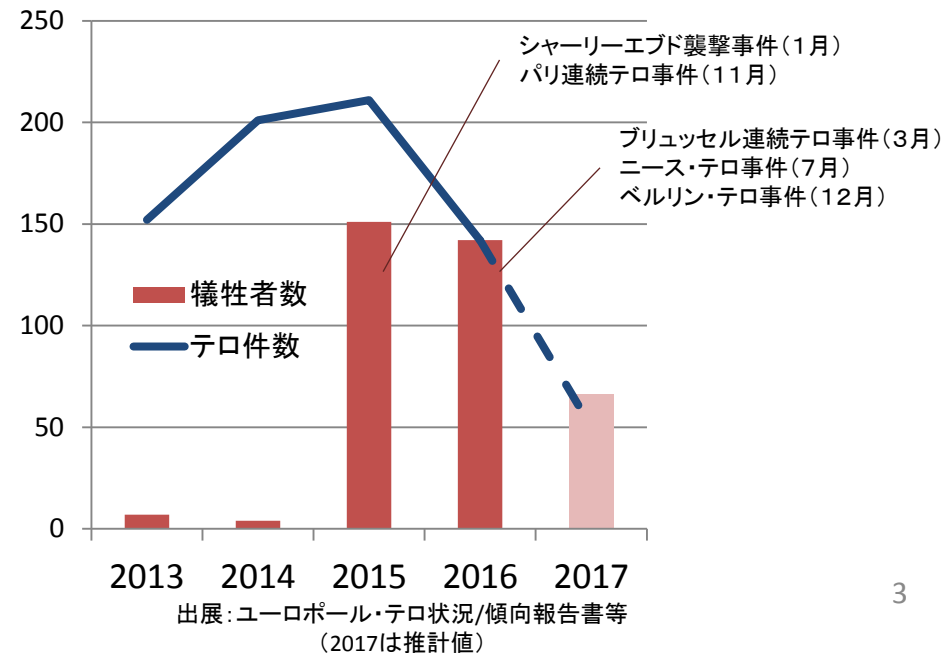
庇護申請者数



テロ対策



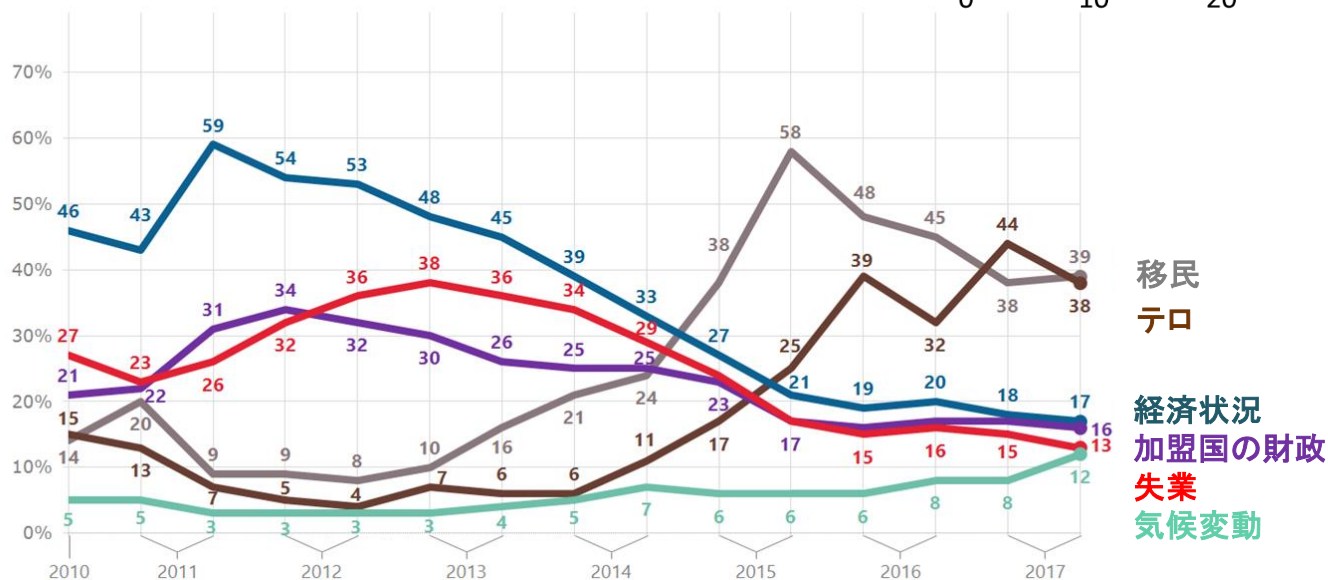
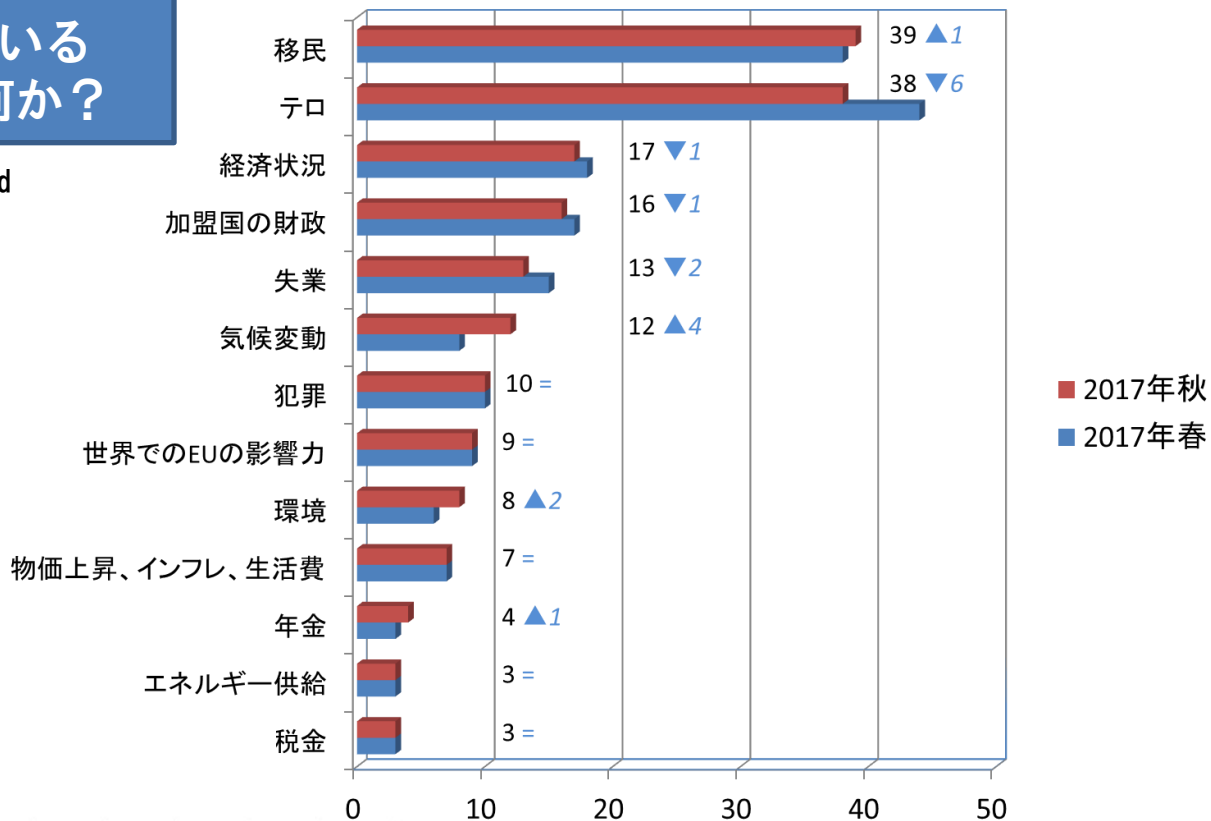
欧州における主要テロ件数と犠牲者数





現在EUが直面している 最も重要な問題は何か？

(出典: European Commission, Standard
Eurobarometer Autumn 2017)

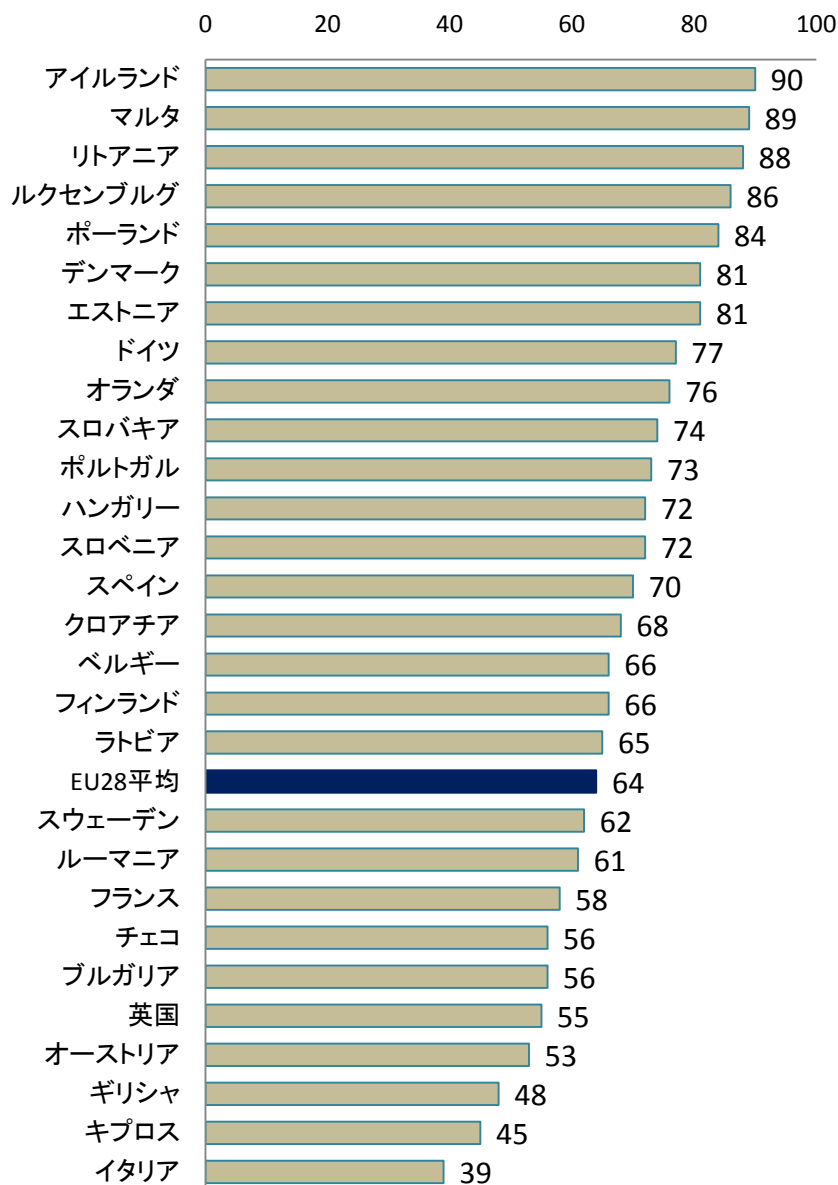




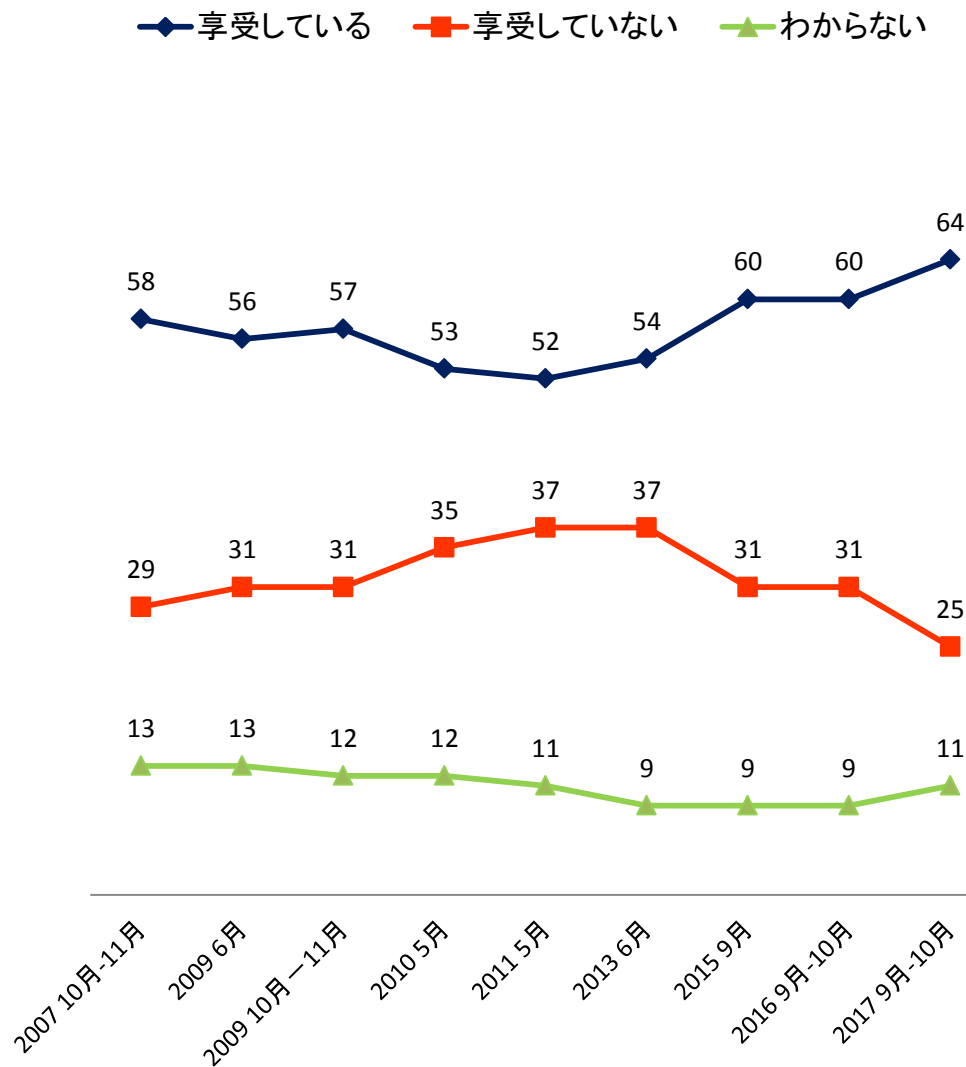
質問：すべてを考慮すると，EU加盟国であることから 利益を享受していると考えますか？

(出展:Parlemeter 2017 (Oct 2017, PE 608.741))

加盟国別



全体平均

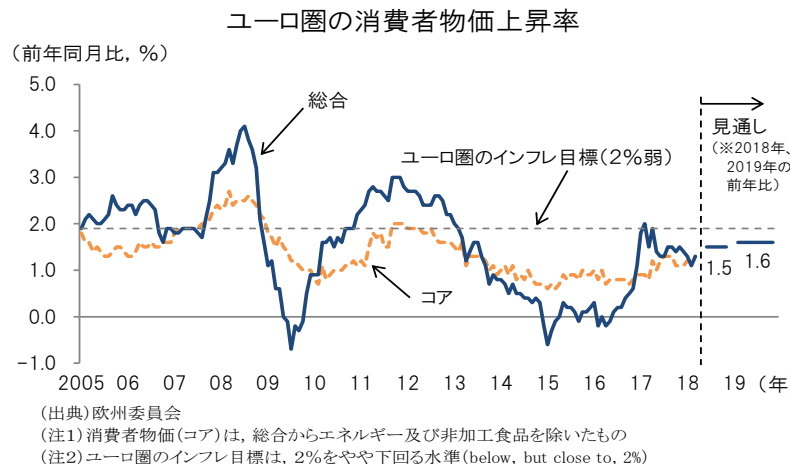
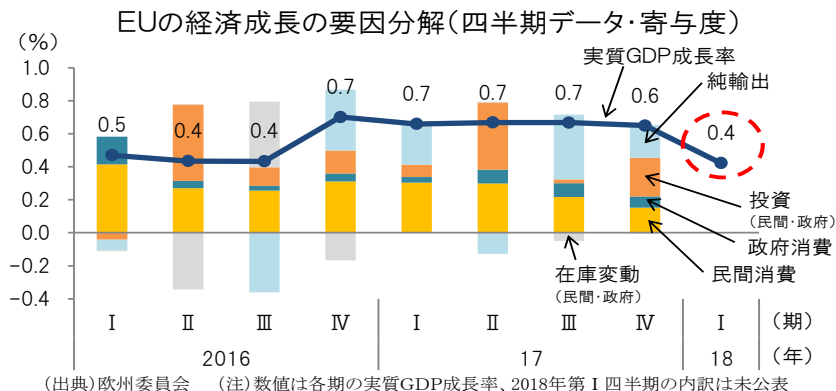
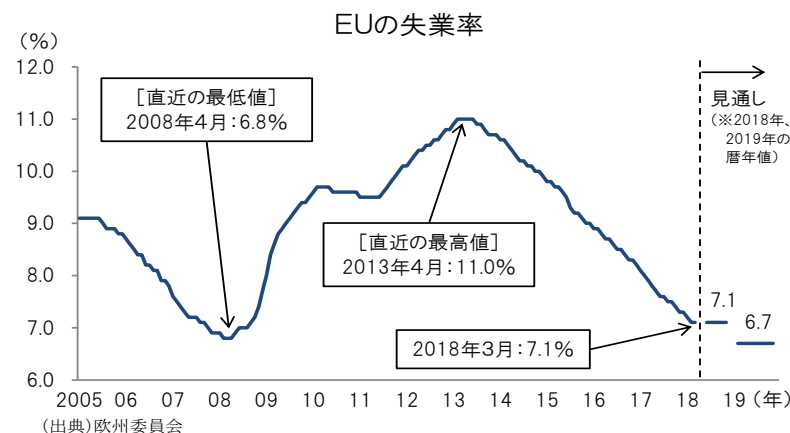
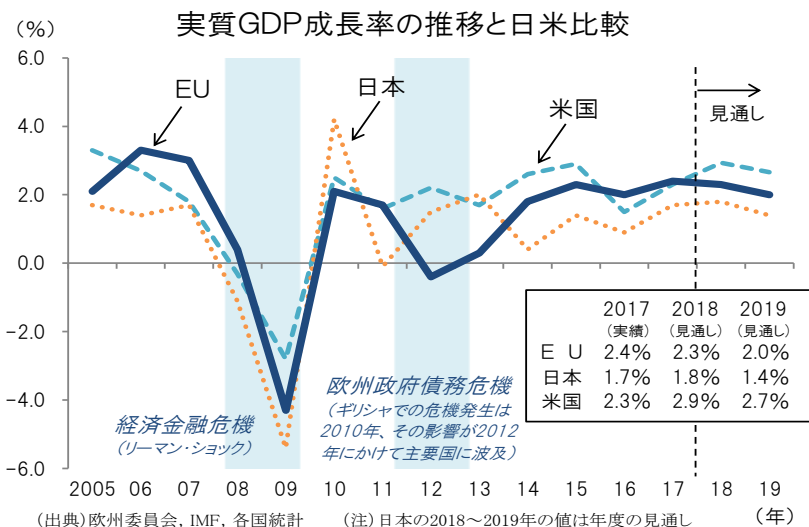




欧州経済の現状

概要

- EU経済は、2013年から5年連続で堅調な景気回復を実現。本年初の経済成長率は寒波による一時的な影響等により減速したが、先行きについては引き続き年間2%台の成長が続く見込み。ただし、米国との緊迫した通商関係など今後の下振れリスクには注意が必要。
- 失業率が着実に低下するなど、雇用面は改善。物価は、賃金上昇に伴って高まっていくと見込まれるものの、そのペースは依然として緩やか。EUのマクロ経済政策は、引き続き欧州経済の回復を支えるべく、緩和的な金融政策や非緊縮的な財政政策を継続する方針。





欧州の将来：2つの課題：統合の継続と加盟国の拡大

